

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC59)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年12月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (11.0)	12/22	0	6.4	33.78	0	0	0	0
		10	6.4	33.82	0	0	0	0
		20	6.4	33.81	0	0	0	0
		30	6.4	33.81	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス・トリポス

コメント

12月の日本海北部(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC58)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年12月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (11.0)	12/21	0	2.7	31.40	0	0	10	0
		5	2.7	31.41	0	0	10	0
		10	2.7	31.41	0	0	0	0
		15	2.7	31.41	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

12月の根室海峡(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは標津でデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK39)

(函館水試担当地区)

2016年12月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 4.0	12/5	0	10.0	33.81	0	0	0	0	10	Dt10
		10	10.2	33.95	0	0	0	0	0	
		20	10.1	33.93	0	0	0	0	0	
		30	9.8	33.88	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 7.9	12/12	0	7.2	29.54	0	0	0	0	10	Dn10
		5	7.8	33.69	0	0	0	0	0	
		10	7.9	33.70	0	0	0	0	0	
		15	7.9	33.72	0	0	0	0	0	
		20	7.9	33.73	0	0	0	0	0	
		25	7.9	33.73	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロトンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

12月上旬の水温は、太平洋中部で9.8~10.2°C、12月中旬の水温は、噴火湾東部で7.2~7.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC57)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2016年12月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.0)	12/6	0	2.02	30.91	0	0	10	0	Dro
		0	1.91	31.08	0	10	50	40	
サロマ湖 (3.5)	12/5	0	2.3	30.87	0	0	10	0	
		3	2.2	30.88	0	0	0	0	
		6	2.1	30.90	0	0	0	0	
		9	2.1	30.92	0	0	10	0	
		12	2.1	30.93	0	0	0	0	
厚岸 (3.5)	12/8	0	3.8	31.92	0	0	0	0	
		5	3.9	31.96	0	0	0	10	
		10	4.3	32.28	0	0	0	0	
		13	4.8	32.32	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

12月の能取湖、サロマ湖および太平洋東部(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルヴェジカおよびロツンダータがわずかに出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK38)

(函館水試担当地区)

2016年12月7日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種		
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
八雲 噴火湾西部 12.0	12/5	0	7.9	32.91	0	0	0	0	0
		5	8.1	33.67	0	0	0	0	0
		10	7.9	33.67	0	0	0	0	0
		15	8.3	33.77	0	0	0	0	0
		20	8.2	33.78	0	0	0	0	0
		25	8.2	33.77	0	0	0	0	0
知内 津軽海峡 12.0	12/5	0	10.8	33.19	0	0	0	0	0
		10	11.5	33.88	0	0	0	0	0
		20	11.4	33.89	0	0	0	0	0

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンテブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

12月上旬の水温は、噴火湾西部では7.9～8.3°C、津軽海峡では10.8～11.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

備考

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC56)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年12月1日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (12.0)	11/24	0	9.2	33.79	0	0	0	0
		10	9.2	33.85	0	0	0	0
		20	9.3	33.91	0	0	0	0
		30	9.4	33.99	0	0	0	0
標津 (11.0)	11/30	0	4.3	31.45	0	0	0	0
		5	4.3	31.45	0	0	10	0
		10	4.3	31.46	0	0	20	0
		15	4.3	31.46	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

コメント

11月の日本海南部(江差)および根室海峡(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは標津でディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK37)

(函館水試担当地区)

2016年11月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種		
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
八雲 噴火湾西部 5.0	11/17	0	9.2	33.53	0	0	0	0	0
		5	9.2	33.53	0	0	0	0	0
		10	9.3	33.53	0	0	0	0	0
		15	9.3	33.54	0	0	0	0	0
		20	9.3	33.54	0	0	0	0	0
		25	9.3	33.54	—	—	—	—	—
鹿部 噴火湾湾口部 9.5	11/18	0	10.5	33.87	0	0	0	0	0
		5	10.5	33.87	0	0	0	0	0
		10	10.5	33.88	0	0	0	0	0
		15	10.5	33.88	0	0	0	0	0
		20	10.8	33.94	0	0	0	0	0
		25	10.8	33.95	0	0	0	0	0
		30	10.8	33.96	0	0	0	0	0
知内 津軽海峡 15.0	11/14	0	12.4	33.33	0	0	0	0	0
		10	13.4	33.83	0	0	0	0	0
		20	13.5	33.90	0	0	0	0	0

At=*Alexandrium tamarense* アレキサントリウム タマレンセ =旧名 フロトニコラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサントリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

11月中旬の水温は、噴火湾西部では9.2~9.7°C、噴火湾湾口部では10.5~10.8°C、津軽海峡で13.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

備考

時化によりプランクトン欠測

//

は12.4～

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC55)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2016年11月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
サロマ湖 (5.2)	11/14	0	4.5	31.64	0	0	50	0	Dn
		3	4.5	31.65	0	0	20	0	
		6	4.5	31.66	0	0	20	10	
		9	4.5	31.67	0	0	30	0	
		12	4.5	31.72	0	0	50	0	
		15	4.7	31.79	0	0	0	0	
常呂 (11.0)	11/14	0	5.3	31.13	0	0	10	0	
		10	5.2	31.29	0	0	30	0	
		20	5.1	31.29	0	0	30	0	
		30	5.1	31.30	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

11月のサロマ湖および網走中部海域(常呂)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータなどがわずかに出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC54)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年11月14日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	11/7	0	9.1	34.13	0	0	0	0
		10	9.1	34.14	0	0	0	0
		15	9.1	34.14	0	0	0	0
		20	9.1	34.14	0	0	0	0
増毛 (14.0)	11/7	0	12.3	33.85	0	0	0	0
		10	12.3	33.84	0	0	0	0
		20	12.3	33.84	0	0	0	0
		30	12.3	33.84	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

月の宗谷北部(猿払)および日本海北部(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK36)

(函館水試担当地区)

2016年11月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 6.0	11/7	0	11.1	33.91	0	0	0	0	0	
		10	11.1	33.92	0	0	0	0	0	
		20	11.2	33.95	0	0	0	0	0	
		30	11.2	33.94	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.1	11/7	0	10.5	31.79	0	0	0	0	0	
		5	10.4	33.67	0	0	0	0	0	
		10	10.4	33.91	0	0	0	0	0	
		15	10.1	33.90	0	0	0	0	0	
		20	9.8	33.87	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 10.0	11/1	0	12.3	33.35	0	0	0	0	0	
		10	12.3	33.54	0	0	0	0	0	
		20	12.4	33.58	0	0	0	0	30	Dt30
		30	12.4	33.60	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

11月上旬の水温は、太平洋中部では11.1～11.2°C、噴火湾東部では9.8～10.5°C、噴火湾西部では12.3～12.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC53)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年11月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.9)	11/7	0	8.2	32.31	0	10	90	80	Dro10, Di70
		5	8.3	32.37	0	10	80	30	Dro10, Di20
		10	8.9	32.76	0	10	20	30	Di30
		12	9.6	32.84	0	0	0	10	Di10

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサン德里ウム・フラテルクルス(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ
 Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
 11月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータおよびインファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC52)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年9月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
能取湖 (3.5)	10/25	0	10.6	33.07	0	0	10	20		Di20 Di20
		10	10.6	33.10	0	0	0	20		
江差 (6.5)	10/19	0	15.9	34.05	0	0	0	0		
		10	15.5	34.06	0	0	0	0		
		20	13.7	34.08	0	0	0	0		
		30	12.3	34.13	0	0	0	0		
標津 (7.0)	10/26	0	13.1	33.27	0	0	0	0		
		5	13.1	33.29	0	0	0	0		
		10	13.1	33.34	0	0	10	0		
		15	12.9	33.30	0	0	0	0		

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンタータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウタータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

10月の能取湖、日本海南部(江差)および根室海峡海域(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖と常呂でデイノフィシス・アキュミナータが、能取湖でデイノフィシス・インファンディブラがわずかに出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC51)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年10月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
サロマ湖 (4.1)	10/17	0	13.0	32.54	0	0	0	0	10	Dro10
		3	13.1	32.71	0	0	0	0	0	
		6	13.7	33.01	0	10	0	0	10	Di10
		9	13.6	33.00	0	10	0	0	10	Di10
		12	13.6	33.23	0	0	0	0	0	
常呂 (12.0)	10/17	15	13.7	33.12	0	0	0	0	0	
		0	13.1	33.17	0	0	0	0	20	Dro10,Di10
		10	13.3	33.49	0	0	10	0	0	
		20	13.4	33.61	0	10	0	0	0	
		30	13.4	33.60	0	10	0	0		

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

10月のサロマ湖および網走中部海域(常呂)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティなどがわずかに出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK35)

(函館水試担当地区)

2016年10月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	10/17	0	16.7	33.18	0	0	0	0	10	Dru10
噴火湾湾口部		5	16.6	33.17	0	0	0	0	0	
10.0		10	16.5	33.21	0	10	0	0	0	
		15	14.4	33.43	0	0	0	0	0	
		20	12.9	33.51	0	0	0	0	0	
		25	11.7	33.67	0	0	0	0	20	Dt20
		30	11.5	33.73	0	0	0	0	0	
		40	11.1	33.74	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

10月中旬の水温は、噴火湾湾口部では11.1～16.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK34)

(函館水試担当地区)

2016年10月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 9.0	10/14	0	16.0	32.51	0	0	0	0	0	
		5	15.9	32.54	0	0	0	0	0	
		10	15.4	33.30	0	0	0	0	0	
		15	14.5	33.75	0	0	0	0	0	
		20	13.6	33.73	0	0	0	0	10	Dru10
		25	13.0	33.75	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 14.0	10/11	0	17.8	32.70	0	0	0	0	0	
		10	17.8	32.75	0	0	0	0	10	Dt10
		20	15.1	33.16	0	0	0	0	0	
		30	13.2	33.72	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 15.0	10/11	0	16.2	33.98	0	0	0	0	0	
		10	16.1	34.04	0	0	0	0	0	
		20	16.0	34.06	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

10月中旬の水温は、噴火湾西部では12.7~17.8°C、津軽海峡では16.0~16.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年10月14日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	10/6	0	14.8	33.94	0	0	0	0
-		10	14.8	33.96	0	0	0	0
		15	14.8	33.95	0	0	0	0
		20	14.8	33.95	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculusアレキサン德里ウム・フラテルクルス(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ
 Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

コメント
 10月上旬の宗谷北部海域(猿払)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG49)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年10月11日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (2.2)	10/7	0	14.0	31.12	0	0	30	0
		5	14.5	32.32	-	-	-	-
		10	13.6	32.77	-	-	-	-
		12	13.4	32.92	-	-	-	-

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculusアレキサン德里ウム・フラテルクルス(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ
 Dc=Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ

コメント

10月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK33)

(函館水試担当地区)

2016年10月6日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 20.0	10/3	0	19.9	33.42	0	0	0	0	0	
		10	20.0	33.45	0	0	0	0	0	
		20	17.9	33.68	0	0	0	0	50	Dt50
		30	17.1	33.63	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 13.5	10/3	0	20.0	28.98	0	0	0	0	0	
		5	20.1	31.81	0	0	0	0	0	
		10	20.3	32.85	0	0	0	0	0	
		15	20.0	33.23	0	0	0	0	10	Dt10
		20	19.8	33.41	0	0	0	0	0	
		25	19.3	33.50	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

10月上旬の水温は、太平洋中部では17.1~20.0°C、噴火湾東部では19.3~20.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK32)

(函館水試担当地区)

2016年10月3日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種		D属の他種 細胞/L	備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
鹿部	9/26	0	20.8	31.80	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	20.7	31.73	0	0	0	0	0	
12.0		10	20.6	31.74	0	0	0	0	0	
		15	20.6	31.72	0	0	0	0	0	
		20	20.5	31.75	0	0	0	0	0	
		25	20.3	32.28	0	0	0	0	0	
		30	20.1	32.79	0	0	0	0	0	
		40	16.0	33.25	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

9月下旬の水温は、噴火湾湾口部で16.0～20.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年9月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (10.0)	9/23	0	20.7	33.47	0	0	0	20	Dru10, Dro10
		10	20.8	33.57	0	0	0	0	
		20	20.8	33.71	0	0	0	0	
		30	18.1	33.97	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサン德里ウム・フラテルクルス(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ
 Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
 9月下旬の日本海北部海域(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・ルジエイおよびロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年9月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Af240	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (3.5)	9/21	0	21.1	31.52	0		0	0	0	
		10	22.5	33.86	0		0	0	0	
		20	21.3	33.95	0		0	0	0	
		30	19.6	33.97	0		0	0	0	
江差 (23.0)	9/21	0	21.6	33.89	0		0	0	0	
		10	21.5	33.91	0		0	0	0	
		20	21.2	33.94	0		0	0	0	
		30	20.1	34.06	0	Af240	0	0	0	
厚岸 (3.0)	9/26	0	18.5	29.59	0		0	20	0	
		5	17.7	32.77	0		10	50	20	Dru20
		10	17.3	32.91	0		10	10	20	Dru10, Dc10
		12	17.2	32.93	0		10	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラクウス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種), Af = A. fraterculus アレキサン德里ウム・フラテルクルス(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ
 Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
 9月下旬の石狩湾海域(浜益)、日本海南部海域(江差)および太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ルジエイおよびコウダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年9月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖	9/15	0	18.9	30.33	0		10	0	0
		10	17.4	32.71	0		0	0	0
サロマ湖 (6.5)	9/20	0	17.3	30.74	0	Aa20	0	0	0
		3	17.3	30.76	0	Aa20	0	0	0
		6	17.8	32.00	0		0	0	0
		9	17.8	32.38	0		0	0	0
		12	17.5	32.48	0	Aa10	0	0	0
常呂 (8.0)	9/20	0	17.3	33.16	0		0	0	0
		10	17.5	33.44	0		0	0	0
		20	17.5	33.57	0		10	0	0
		30	17.5	33.58	0		10	0	10

Dm10

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

9月の能取湖、サロマ湖および網走中部海域(常呂)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖と常呂でデイノフィシス・フォルティが常呂でデイノフィシス・ミトラがわずかに出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK31)

(函館水試担当地区)

2016年9月21日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 12.0	9/15	0	21.7	31.38	0	0	0	0	0	
		5	21.6	31.44	0	0	0	0	0	
		10	21.6	31.55	0	0	0	0	0	
		15	21.4	31.68	0	0	0	0	0	
		20	20.7	32.16	0	0	0	0	0	
		25	20.0	33.51	0	0	0	0	20	Dt20
森 噴火湾西部 8.5	9/16	0	21.4	31.50	0	0	0	0	0	
		10	21.1	31.71	0	0	0	0	0	
		20	20.9	31.83	0	0	0	0	0	
		30	19.0	32.67	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現していますが、噴火湾西部には出現していません。

9月中旬の水温は、噴火湾東部では20.0~21.7°C、噴火湾西部では19.0~21.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG45)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年9月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	9/13	0	18.1	33.76	0	0	0	0
-		10	18.1	33.81	0	0	0	0
		15	17.9	33.77	0	0	0	0
		20	17.6	33.78	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

9月の宗谷北部海域(猿払)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年9月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
標津 (10.0)	9/15	0	18.1	30.09	0	0	10	0	Dt10
		5	17.8	31.96	0	0	10	10	
		10	16.7	32.58	0	0	0	0	
		15	15.4	33.45	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンタータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ
 Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt=Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

9月の根室海峡海域(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・アキュミナータとトリポスがわずかに出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK30)

(函館水試担当地区)

2016年9月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 8.0	9/15	0	21.6	31.34	0	0	0	0	0	
		5	21.3	31.46	0	0	0	0	0	
		10	21.2	31.55	0	0	0	0	0	
		15	21.1	31.70	0	0	0	0	0	
		20	20.9	31.83	0	0	0	0	0	
		25	20.0	32.47	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 15.0	9/15	0	22.3	33.58	0	0	0	0	0	
		10	22.3	33.75	0	0	0	0	0	
		20	22.1	33.77	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

9月中旬の水温は、噴火湾西部では18.6～21.6°C、津軽海峡では22.1～22.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK29)

(函館水試担当地区)

2016年9月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	9/12	0	20.4	32.14	0	0	0	0	10	Dt10
太平洋中部		10	20.4	32.42	0	0	0	0	0	
5.5		20	20.1	33.10	0	0	0	0	10	Dru10
		30	19.4	33.42	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルトイ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

9月中旬の水温は、太平洋中部では19.4~20.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2016年9月5日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (2.0)	9/5	0	19.4	29.73	0	0	20	0	
		5	18.9	32.41	0	10	0	50	Dc50
		10	17.9	32.51	0	0	10	10	Di10
		12	17.6	32.55	0	10	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

9月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、コウダータおよびインファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2016年9月2日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (4.0)	9/1	0	18.0	30.73	40		170	50	0	Dro10
		5	17.7	31.14	0		50	10	10	
		10	17.4	31.43	0		10	0	0	
		15	15.6	33.42	0		0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月上旬の根室海峡海域(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・ロツンダータがわずかに出現しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK28)

(函館水試担当地区)

2016年9月1日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	8/24	0	23.0	31.43	0	0	0	0	10	Dm10
噴火湾湾口部		5	22.5	31.55	0	0	0	0	70	Dt30,Dm40
9.0		10	21.1	31.77	0	0	0	0	0	
		15	19.3	32.25	0	0	0	0	200	Dt200
		20	18.6	32.74	0	0	0	0	10	Dt10
		25	15.2	32.86	0	0	0	0	10	Dt10
		30	14.8	32.75	0	0	0	0	0	
		40	10.6	33.07	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサントリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサントリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

8月下旬の水温は、噴火湾湾口部では10.6~23.0°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年8月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			Dm10
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (4.0)	8/24	0	23.1	28.54	0	0	0	10	
		10	23.9	33.79	0	0	0	0	
		20	19.3	33.82	0	0	0	0	
		30	16.1	33.89	0	0	0	0	
網走 -	8/24	0	21.5	30.98	0	0	0	0	
		10	20.4	32.51	0	0	0	0	
		20	18.9	33.40	0	0	0	0	
		30	18.3	33.42	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の石狩湾海域(浜益)と網走南部海域(網走)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは浜益でデイノフィシス・ミトラがわずかに出現しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG40)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年8月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (7.0)	8/22	0	20.6	32.64	0	0	0	0	
		15	19.9	33.49	0	0	0	0	
		25	18.4	33.67	0	0	0	0	
		39.3	17.9	33.66	0	0	0	0	
厚岸 (1.0)	8/25	0	21.5	24.48	0	50	500	0	
		5	17.8	31.25	0	0	180	0	
		10	16.4	32.64	0	0	0	0	
		13	13.9	32.78	0	0	30	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の網走北部海域(紋別)と太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋東部海域(厚岸)でデイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2016年8月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖 (1.5)	8/22	0	21.9	21.79	150	Aa100	0	0	0
		3	21.9	31.86	150	Aa120	0	0	0
		6	21.4	32.54	40		0	0	0
		9	21.0	32.69	20		0	0	0
		12	20.0	32.71	0		0	0	0
		15	18.9	32.99	30	Aa20	0	0	0
常呂 (7.0)	8/22	0	20.6	31.38	0	Aa40	0	0	0
		10	19.6	33.55	30		0	0	0
		20	19.3	33.56	0		0	0	0
		30	18.9	33.62	0		0	0	0
能取湖 (3.0)	8/18	0	23.0	31.27	0		0	0	0
		10	20.6	32.99	0	Aa130	0	0	10
江差 (7.0)	8/19	0	22.1	33.97	0		0	0	0
		10	20.7	34.09	0		0	0	0
		20	16.1	34.25	0		0	0	20
		30	14.3	34.27	0		0	0	0

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

コメント

8月下旬のサロマ湖で麻痺性プランクトンAtがやや多く出現しており、網走中部(常呂)でも出現しています。
能取湖と日本海南部(江差)では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは能取湖でデイノフィシス・ルジエイが江差でミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK27)

(函館水試担当地区)

2016年8月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
知内	8/19	0	23.4	33.99	0	0	0	0	10	Dru10
津軽海峡		10	21.1	34.03	0	0	0	10	20	Di10,Dru10
13.0		20	19.9	34.06	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサントリウム タマレンセ =旧名 プロコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサントリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡に出現しています。

8月中旬の水温は、津軽海峡では19.9~23.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年8月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別 —	8/9	0	20.4	33.38	0	0	0	0
		10	20.4	33.42	0	0	0	0
		20	20.4	33.43	0	0	0	0
		30	20.4	33.43	0	0	0	0
猿払 —	8/10	0	20.0	33.20	0	0	0	0
		10	17.7	33.83	0	0	0	0
		20	16.4	33.85	0	0	0	0
		30	14.9	33.99	0	0	0	0
増毛 (22.0)	8/12	0	22.9	33.55	0	0	0	0
		10	22.4	33.58	0	0	0	0
		20	19.7	33.81	0	0	0	0
		30	18.0	33.94	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月の宗谷南部(頓別)、宗谷北部(猿払)および日本海北部(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2016年8月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 10.0	8/12	0	20.8	31.76	0	0	0	10	10	Dt10
		10	17.7	32.00	0	0	0	50	30	Dt30
		20	16.3	32.85	0	0	140	60	60	Dt60
		30	14.9	33.11	0	0	0	50	50	Dn20,Dt30
虻田 噴火湾東部 9.5	8/10	0	21.4	31.48	0	0	0	0	0	
		5	18.5	32.03	0	0	0	0	10	Dt10
		10	16.4	32.31	0	0	0	0	20	Dt10,Dro10
		15	12.6	32.88	0	0	0	0	60	Dt60
		20	11.5	33.00	0	0	0	0	10	Dt10
25	10.7	33.18	0	0	0	0	0			
八雲 噴火湾西部 10.5	8/11	0	22.6	31.14	0	0	0	0	0	
		5	20.7	31.67	0	0	0	0	50	Dt50
		10	16.9	32.37	0	0	0	10	30	Dt30
		15	12.7	32.64	0	0	0	0	30	Dt20,Dro10
		20	10.8	32.95	0	0	10	0	0	
		25	8.6	32.95	0	0	50	0	10	Dt10
30	7.9	33.02	0	0	90	20	0			

At=Alexandrium tamarense アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

8月上旬の水温は、噴火湾東部では10.7~21.4°Cです。

8月中旬の水温は、太平洋中部では14.9~20.8°C、噴火湾西部では7.9~22.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2016年8月10日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (3.1)	8/5	0	21.6	29.14	10	0	90	0	
		5	14.8	32.14	10	30	460	40	Dn20, Dru20
		10	12.3	32.25	0	30	450	40	Dn20, Dru20
		12	11.4	32.55	20	50	770	220	Dn210, D.caudata10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸で、デイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年8月2日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
網走 (11.0)	7/25	0	16.4	32.75	0	0	10	0	
		10	14.3	33.70	0	10	0	0	
		20	13.8	33.76	0	30	0	0	
		30	13.8	33.78	10	10	0	0	
浜益 (13.0)	7/25	0	20.5	32.80	0	0	0	0	
		10	20.3	32.78	0	0	0	0	
		20	19.9	32.99	0	0	0	0	
		30	16.0	33.74	0	0	0	0	
標津 (8.0)	7/28	0	14.0	32.60	0	0	30	10	Dn10
		5	13.5	32.83	0	0	10	0	
		10	12.9	33.54	0	0	10	0	
		15	11.8	33.43	0	0	0	0	
江差 (18.0)	7/22	0	21.2	33.98	0	0	0	0	
		10	17.7	34.22	0	0	0	0	
		20	16.2	34.18	0	0	0	0	
		30	15.5	34.21	0	0	0	10	Dro10
能取湖 (8.2)	7/26	0	19.8	33.32	20	0	10	0	
		10	16.6	33.53	0	70	50	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の網走南部(網走)海域と能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ノルヴェジカおよびロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2016年7月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 8.0	7/26	0	20.2	30.55	0	0	0	0	0	
		5	19.8	31.54	0	0	0	0	20	Dt20
		10	18.7	31.73	0	0	0	0	90	Dt90
		15	18.1	31.88	0	0	0	0	50	Dt50
		20	16.9	31.99	0	0	10	0	30	Dt30
		25	13.6	32.26	0	0	30	0	30	Dt30
鹿部 噴火湾湾口部	7/25	0	18.0	32.22	0	0	0	0	30	Dt20,Dro10
		5	17.4	32.03	0	0	0	0	30	Dt30
		10	14.6	32.93	0	0	30	10	0	
		15	13.0	32.70	0	0	20	10	10	Dt10
		20	12.2	32.87	0	0	10	0	40	Dt30,Dru10
		25	12.1	32.94	0	0	20	10	0	
		30	11.7	32.94	0	0	10	0	60	Dt50,Dru10
40	11.0	33.15	0	0	20	0	0			

At=Alexandrium tamarense アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=Alexandrium ostenfeldii アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

7月下旬の水温は、噴火湾東部では13.6~20.2°C、噴火湾湾口部では11.0~18.0°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 —	7/20	0	14.8	33.76	0	0	0	0	
		10	14.6	33.78	0	0	0	0	
		15	14.3	33.80	0	0	0	0	
		20	14.2	33.82	0	0	0	0	
増毛 (19.0)	7/21	0	20.0	33.20	0	0	0	0	
		10	17.7	33.83	0	0	0	0	
		20	16.4	33.85	0	0	0	0	
		30	14.9	33.99	0	0	0	0	
厚岸 (4.5)	7/26	0	16.8	30.81	10	0	1600	10	Dn
		5	13.8	32.10	20	0	2850	400	Dn360, Dru30, Di10
		10	12.1	32.16	20	40	1520	120	Dn110, Dru10
		13	10.9	32.27	20	0	3710	200	Dn200

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸で、デイノフィシス・アキュミナータが非常に多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2016年7月26日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	7/22	0	19.2	30.91	0	0	0	0	40	Dt40
噴火湾西部		10	16.7	31.96	0	0	0	0	20	Dt20
12.0		20	13.2	32.35	0	0	40	10	0	
		30	12.0	32.79	0	0	0	0	10	Dt10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサントリウム タマレンセ =旧名 プロコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサントリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

7月下旬の水温は、噴火湾西部で12.0~19.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別	7/12	0	15.3	34.03	0	0	0	0	
		10	15.3	34.03	0	0	0	0	
		20	15.3	34.01	0	0	0	0	
		30	15.3	34.01	0	0	0	0	
能取湖 (8.0)	7/13	0	19.0	32.86	0	0	0	10	Dru
		10	15.1	33.30	0	230	50	10	Dru
常呂 (14.0)	7/19	0	16.9	33.35	0	0	0	0	
		10	16.0	33.65	0	0	0	0	
		20	15.5	33.61	0	0	0	0	
		30	15.4	33.62	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.0)	7/19	0	18.0	32.50	0	50	10	20	Dro
		3	18.1	32.78	0	30	10	10	Dro
		6	16.3	33.11	0	140	20	0	
		9	15.5	33.06	0	60	0	0	
		12	14.8	33.15	0	110	0	10	Dro
		15	13.9	33.12	0	60	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月中旬の宗谷南部(頓別)海域、能取湖海域、網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現しています。
 下痢性貝毒プランクトンは能取湖とサロマ湖でデイノフィシス・フォルティオがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2016年7月21日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/19	0	16.8	32.10	0	0	0	40	0	
太平洋中部		10	15.4	32.48	0	0	20	50	0	
7.0		20	14.0	32.58	0	0	50	0	70	Dt70
		30	11.1	32.68	0	0	0	10	30	Di30

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

7月中旬の水温は、太平洋中部で11.1～16.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2016年7月19日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
知内	7/13	0	18.4	33.38	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	15.0	33.95	0	0	0	0	0	
10.0		20	14.1	34.01	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

7月中旬の水温は、津軽海峡で14.1～18.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (25.0)	7/11	0	18.6	33.74	0	0	0	0	
		10	18.7	33.95	0	0	0	0	
		20	18.5	34.01	0	0	0	0	
		30	14.2	34.16	0	0	0	0	
紋別 (10.0)	7/11	0	13.5	33.54	10	0	0	0	
		15	12.4	33.67	0	10	10	0	
		25	12.0	33.68	0	0	0	0	
		37	11.9	33.68	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月中旬の網走北部(紋別)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティとアキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月15日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	7/6	0	12.7	32.79	0	0	0	0
		10	12.5	33.73	0	0	0	0
		15	12.5	33.74	0	0	0	0
		20	12.5	33.74	0	0	0	0
増毛 (20.0)	7/7	0	17.8	33.26	0	0	0	0
		10	15.6	33.86	0	0	0	0
		20	14.1	33.91	0	0	0	0
		30	13.2	33.96	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の宗谷北部(猿払)海域および日本海北部(増毛)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.0)	7/11	0	15.5	29.84	0	0	40	0	
		5	10.3	32.03	0	10	360	250	Dn
		10	8.4	32.29	0	10	520	460	Dn
		12	8.1	32.29	0	0	700	460	Dn

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の太平洋東部海域(厚岸)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2016年7月12日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	7/8	0	16.4	32.17	20	0	0	30	0	
噴火湾西部		10	13.1	32.06	0	0	130	300	80	Dn10,Dt70
8.0		20	12.6	32.84	0	0	60	60	30	Dt30
		30	12.5	33.20	0	0	90	60	30	Dt30

At=*Alexandrium tamarense* アレキサントリウム タマレンセ =旧名 プロコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサントリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾西部で12.5~16.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月11日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
標津 (7.0)	7/8	0	10.6	31.90	0	0	440	140	Dn	
		5	10.4	31.94	0	0	320	130	Dn	
		10	10.1	32.23	0	0	590	220	Dn	
		15	7.6	32.88	0	0	160	80	Dn	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の根室海峡海域(標津)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (5.0)	7/5	0	13.9	33.05	0	0	0	0	
		10	13.6	33.79	0	20	0	0	
		20	13.6	33.79	0	10	0	0	
		30	13.6	33.78	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.0)	7/5	0	15.4	32.92	0	10	0	0	
		3	15.3	32.93	0	20	0	0	
		6	14.3	33.08	0	40	0	0	
		9	13.9	33.19	0	90	0	10	Di
		12	13.8	33.14	0	40	0	0	
		15	13.2	33.15	0	50	0	10	Di

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の網走中部(常呂)とサロマ湖では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティとインファンティブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2016年7月7日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	7/4	0	16.1	30.68	0	0	40	30	30	Dt30
噴火湾東部 10.5		5	14.4	31.88	0	0	30	410	30	Dt30
		10	13.6	32.02	0	0	50	360	40	Dn40
		15	12.7	32.20	0	0	30	60	20	Dn10,Dru10
		20	11.6	32.61	0	0	20	60	0	
		25	11.1	32.89	0	0	0	20	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサントリウム タマレンセ =旧名 プロコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサントリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾東部で11.1~16.1°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月6日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	6/28	0	12.1	33.83	0	0	0	0
		10	12.1	33.81	0	0	0	0
		15	12.1	33.81	0	0	0	0
		20	12.1	33.81	0	0	0	0
能取湖 (6.5)	6/28	0	16.6	32.70	0	0	10	0
		10	12.2	32.42	0	120	90	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の宗谷北部(猿払)および能取湖海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でデイノフィシス・フォルティがやや多く、アキュミナータが少し出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2016年7月5日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/4	0	12.9	32.18	0	0	30	90	180	Dn120,Dt10,Dru50
太平洋中部		10	12.7	33.46	0	0	0	120	110	Dn100,Dru10
10.0		20	9.8	33.26	0	0	0	20	80	Dn80
		30	8.2	33.47	0	0	20	0	90	Dn90

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルトイ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

7月上旬の水温は、太平洋中部で8.2~12.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月4日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (6.0)	6/27	0	11.5	33.35	0	60	20	0	Di
		10	11.2	33.55	0	60	10	0	
		20	10.8	33.68	0	0	20	10	
		30	10.6	33.73	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の網走南部(網走)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびインファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年7月1日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸	6/29	0	13.8	30.15	0	0	760	60	Dn
-		5	9.3	32.10	0	30	900	410	Dn
		10	8.5	32.24	0	0	450	750	Dn
		11	8.4	32.33	0	0	260	470	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフイネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが非常に多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2016年6月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	6/28	0	16.6	29.58	0	0	0	1120	0	
噴火湾西部		5	14.8	31.15	0	0	30	650	60	Dt60
4.0		10	13.7	31.94	0	0	180	740	190	Dn150,Dt40
		15	13.4	32.09	0	0	30	490	80	Dn60,Dro20
		20	13.0	32.18	0	0	40	300	10	Dro10
		25	12.8	32.22	0	0	0	70	10	Dn10
		30	12.3	32.33	0	0	0	50	10	Dn10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロゴニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部で12.3~16.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年6月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別 -	6/20	0	11.2	33.71	0	0	20	0
		10	11.1	33.69	0	30	0	0
		20	11.0	33.72	0	0	10	0
		30	10.8	33.74	0	10	10	0
紋別 (10.0)	6/20	0	11.5	33.54	0	10	0	0
		15	10.8	33.67	0	0	0	0
		25	10.8	33.68	0	0	0	0
		35	10.8	33.68	0	0	0	0
江差 (12.5)	6/21	0	18.1	33.56	0	0	0	0
		10	17.1	33.71	0	0	0	0
		20	16.8	33.88	0	0	0	0
		30	14.6	34.11	0	0	0	0
増毛 (25.0)	6/22	0	16.1	33.40	0	10	0	0
		10	14.2	33.65	0	20	0	0
		20	13.1	33.81	0	0	0	0
		30	12.5	33.88	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の宗谷南部(頓別)、網走北部(紋別)、日本海南部(江差)および日本海北部(増毛)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2016年6月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	6/24	0	13.7	31.96	60	0	0	20	10	Dn10
噴火湾西部		10	12.0	32.35	10	10	0	120	50	Dn50
7.5		20	11.0	32.49	42	0	0	146	21	濾水量960ml, Dn21
		30	9.1	32.57	0	0	0	50	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部で9.1~13.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2016年6月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 6.8	6/21	0	14.4	30.95	0	0	0	250	20	Dt10,Dru10
		5	14.0	31.79	0	0	0	410	20	Dn20
		10	13.9	31.89	0	0	10	110	50	Dn20,Dt10,Dru20
		15	13.5	32.07	0	0	0	160	40	Dn30,Di10
		20	13.0	32.21	0	0	10	60	30	Dn20,Di10
		25	12.6	32.26	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 7.0	6/21	0	12.2	32.11	10	0	30	520	170	Dn160,Dru10
		5	12.0	32.07	0	0	110	480	160	Dn140,Dt20
		10	12.0	32.35	10	0	50	190	290	Dn280,Dt10
		15	11.7	32.50	20	0	50	100	100	Dn80,Dro20
		20	11.4	32.68	0	0	0	30	0	
		25	11.3	32.74	0	0	0	20	20	Dn20
		30	11.6	32.87	0	10	0	50	30	Dn30
		40	11.6	32.97	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾東部で12.6~14.4°C、噴火湾湾口部で11.3~12.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2016年6月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/21	0	15.6	24.29	10	0	30	6710	300	Dn280, Dt20
太平洋中部 1.5		10	9.9	31.88	0	0	30	540	590	Dn550, Dt30, Dru10
		20	10.0	32.21	0	0	0	2140	1560	Dn1510, Dt50
		30	11.4	32.98	0	0	0	40	40	Dn40
知内	6/20	0	15.1	33.63	0	0	0	0	10	Dro10
津軽海峡 7.0		10	14.1	33.91	30	0	0	0	0	
		20	13.4	33.97	0	0	10	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ダイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ダイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ダイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ダイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ダイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ダイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ダイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ダイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ダイノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡に出現しています。

6月中旬の水温は、津軽海峡で13.4～15.1°C、6月下旬の水温は太平洋中部で9.9～15.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年6月22日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
浜益 (6.0)	6/15	0	14.1	32.58	0	0	0	0	
		10	13.8	32.74	0	10	0	0	
		20	13.5	33.18	0	0	0	0	
		30	13.1	33.28	0	0	0	0	
標津 (10.0)	6/21	0	9.7	31.65	40	0	110	10	Dn10
		5	8.8	31.93	0	10	230	40	Dn40
		10	5.0	32.80	0	0	60	30	Dn20, Di10
		15	4.6	32.71	0	0	10	10	Dn10
常呂 (11.0)	6/20	0	10.9	33.65	0	10	0	0	
		10	10.8	33.66	0	20	10	0	
		20	10.6	33.63	0	30	0	0	
		30	10.4	33.74	0	0	0	20	Dru10, Di10
サロマ湖 (5.5)	6/20	0	13.8	32.31	0	0	0	0	
		3	13.7	32.37	0	0	0	0	
		6	12.7	32.33	0	20	0	0	
		9	11.4	32.91	0	0	0	0	
		12	11.1	33.10	0	0	0	0	
		15	10.4	33.34	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の根室海峡海域(標津)で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、根室海峡海域(標津)でデイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年6月16日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (15.0)	6/7	0	13.5	33.15	0	0	0	0	
		10	12.1	33.74	0	40	0	0	
		20	11.1	33.91	0	0	0	0	
		30	10.5	34.01	0	10	0	0	
猿払 (-)	6/7	0	9.8	33.82	0	0	0	0	
		10	8.7	33.96	0	0	0	0	
		15	8.7	33.94	0	0	0	0	
		20	8.6	33.96	0	0	0	0	
江差 (15.0)	6/7	0	16.7	33.80	0	0	0	0	
		10	14.1	34.13	0	0	0	0	
		20	13.9	34.15	0	0	0	0	
		30	13.8	34.13	0	0	0	10	Dro
能取湖 (6.0)	6/9	0	13.8	32.18	0	0	10	0	
		10	11.2	32.84	0	0	20	10	Dn
標津 (6.0)	6/14	0	8.7	31.74	0	0	40	0	
		5	8.2	31.83	0	0	120	10	Dn
		10	6.7	32.24	0	0	120	70	Dn60, Dru10
		15	5.9	32.33	0	0	70	20	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月上旬の日本海北部, 宗谷北部, 日本海南部, 能取湖および根室海峡海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータ、ノルウェジカ、ルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2016年6月13日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 14.0	6/6	0	10.1	32.09	0	0	0	350	10	Dn10
		10	8.2	32.26	0	0	0	220	430	Dn430
		20	7.4	32.50	0	0	0	40	130	Dn130
		30	6.2	32.50	0	0	0	10	30	Dn30
虻田 噴火湾東部 14.0	6/7	0	14.1	32.23	0	0	0	0	0	
		5	12.6	32.20	0	0	0	80	10	Dn10
		10	10.7	32.31	0	0	0	30	0	
		15	9.1	32.52	0	0	0	10	50	Dn50
		20	8.0	32.66	0	0	0	70	20	Dn20
森 噴火湾西部 10.0	6/7	0	13.9	32.25	40	0	0	50	0	
		10	11.8	32.33	20	0	0	50	0	
		20	10.4	32.34	10	0	0	50	50	Dn50
		30	7.2	32.76	10	10	0	60	10	Dn10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェーシカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブーラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテウンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

6月上旬の水温は、太平洋中部で6.2~10.1°C、噴火湾東部で7.5~14.1°C、噴火湾西部で7.2~13.9°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年6月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	6/8	0	11.0	30.99	0	0	570	10	Dn10
		5	7.3	32.09	0	0	360	420	Dn420
		10	5.9	32.26	0	0	230	200	Dn200
		13	5.8	32.29	0	0	80	70	Dn70

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月上旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年6月9日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (13.0)	5/31	0	12.4	33.58	0	30	0	0	
		10	12.4	33.66	0	20	0	10	Di
		20	11.5	33.81	0	10	0	10	Di
		30	10.2	33.93	0	0	0	0	
猿払 (-)	5/31	0	11.0	33.58	0	0	0	10	Di
		10	11.0	33.58	0	0	0	0	
		15	11.0	33.58	0	0	0	0	
		20	11.0	33.58	0	0	0	0	
常呂 (8.0)	6/6	0	11.0	33.00	0	0	0	0	
		10	10.5	33.54	0	0	0	0	
		20	10.1	33.67	0	0	10	0	
		30	9.4	33.78	0	0	0	0	
サロマ湖 (8.0)	6/6	0	11.6	32.20	0	0	0	0	
		3	11.2	32.17	0	0	0	0	
		6	11.2	32.22	0	0	0	0	
		9	10.8	32.65	0	0	0	0	
		12	10.5	32.84	0	0	0	0	
		15	10.4	32.72	0	0	0	0	
能取湖 (8.2)	5/26	0	13.7	32.33	0	0	10	0	
		10	11.3	32.50	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬～6月上旬の日本海北部, 宗谷北部, 網走中部, サロマ湖および能取湖海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂と能取湖でディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年6月1日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (8.0)	5/26	0	10.6	32.88	0	0	20	10	Dru
		10	9.3	33.07	0	10	30	0	
		20	8.9	33.15	0	10	40	10	Di
		30	7.9	33.25	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサントリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の網走南部(網走)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ルジエイ、インファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月31日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (6.0)	5/30	0	7.3	31.81	0	0	30	10	Dru
		5	7.2	31.90	0	0	30	0	
		10	6.8	31.97	0	0	20	0	
		15	4.8	32.22	0	0	30	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の根室海峡海域(標津)でプランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (15.0)	5/23	0	15.3	34.12	0	0	0	0	
		10	14.3	33.97	0	0	0	0	
		20	14.1	34.00	0	0	0	0	
		30	14.1	34.01	0	0	0	10	Dro
紋別 (10.0)	5/24	0	10.2	33.25	0	0	0	0	
		15	10.0	33.35	0	0	0	0	
		25	9.8	33.39	0	0	0	0	
		35	9.7	33.72	0	0	0	0	
厚岸 (2.4)	5/27	0	10.5	31.32	10	0	420	70	Dn70
		5	7.3	32.05	0	0	140	160	Dn160
		10	5.8	32.18	0	0	90	210	Dn200, Dru10
		12	5.4	32.21	0	0	70	140	Dn140

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の太平洋東部海域(厚岸)で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しています。
 日本海南部海域(江差)、網走北部海域(紋別)では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋東部海域(厚岸)でデイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2016年5月26日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 9.0	5/24	0	12.7	31.52	0	0	0	110	20	Dt20
		5	9.4	32.43	0	0	0	50	0	
		10	8.9	32.44	60	0	0	80	0	
		15	8.6	32.52	10	0	0	20	0	
		20	8.3	32.56	0	0	0	160	20	Dn20
		25	7.5	32.71	0	0	0	70	0	
森 噴火湾西部 10.7	5/23	0	13.4	32.03	20	0	0	110	10	Dru10
		10	8.7	32.50	20	0	0	100	0	
		20	8.4	32.54	20	10	0	90	0	
		30	7.9	32.68	0	20	0	60	0	
鹿部 噴火湾湾口部 6.0	5/19	0	11.5	32.12	40	0	0	440	10	Dn10
		5	9.7	32.13	0	0	0	150	10	Dn10
		10	8.8	32.46	10	0	0	50	10	Dn10
		15	8.4	32.54	20	0	0	30	0	
		20	8.1	32.73	0	0	0	70	0	
		25	8.2	32.83	20	0	0	30	0	
		30	7.7	32.96	0	10	0	30	20	Dn20
		40	7.1	33.05	10	10	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

5月中旬の水温は、噴火湾湾口部で7.1~11.5°C、5月下旬の水温は、噴火湾東部で7.5~12.7°C、噴火湾西部で7.9~13.4°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	5/17	0	9.14	32.39	0	0	0	0	
		10	9.02	33.13	0	0	0	0	
		15	8.98	33.16	0	0	0	0	
		20	8.96	33.18	0	0	0	0	
常呂 (11.0)	5/23	0	11.6	33.05	0	0	0	0	
		10	9.8	33.16	0	0	0	0	
		20	9.3	33.27	0	0	0	0	
		30	9.3	33.28	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.2)	5/23	0	14.0	31.66	0	0	0	10	Dru
		3	12.0	31.14	0	0	10	0	
		6	8.8	32.03	0	0	0	0	
		9	8.0	32.16	0	0	0	0	
		12	7.5	32.63	0	0	0	0	
		15	6.6	32.69	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の宗谷北部(猿払)、網走中部(常呂)およびサロマ湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータとルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2016年5月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	5/19	0	7.4	32.28	0	0	0	200	0	
太平洋中部		10	5.7	32.46	0	0	0	230	190	Dn190
10.0		20	4.6	32.50	0	0	0	20	30	Dn30
		30	4.5	32.49	0	0	0	10	40	Dn40
八雲	5/18	0	11.2	30.84	0	0	0	30	0	
噴火湾西部		5	9.7	31.98	20	0	0	60	0	
5.0		10	9.2	32.03	0	0	0	100	0	
		15	8.1	32.32	0	10	0	80	0	
		20	7.8	32.59	10	10	0	30	0	
		25	7.4	32.67	20	30	0	90	0	
		30	7.3	32.70	10	0	0	150	0	
知内	5/19	0	13.9	33.66	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	11.3	33.95	0	0	0	0	0	
7.0		20	11.3	33.96	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェーシカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

5月中旬の水温は、太平洋中部で4.5~7.4°C、噴火湾西部で7.3~11.2°C、津軽海峡で11.3~13.9°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月23日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (9.0)	5/13	0	11.7	33.91	0	0	0	0	
		10	11.6	33.99	0	0	0	0	
		20	11.6	33.98	0	0	10	0	
		30	11.4	33.98	0	0	0	10	Dro
能取湖 (4.5)	5/17	0	8.9	32.18	0	0	160	10	Dro
		10	8.1	32.23	0	0	190	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフネ (無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月の日本海南部海域(江差)および能取湖海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとロツンダータが出現しており、能取湖でアキュミナータがやや多く出現しています

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (7.0)	5/13	0	10.3	31.78	0	0	0	0
		10	10.1	33.91	0	0	0	0
		20	9.7	33.90	0	0	0	0
		30	9.3	33.88	0	0	0	0
増毛 (7.5)	5/13	0	9.7	31.14	0	0	10	0
		10	9.1	33.27	0	20	20	0
		20	8.9	33.67	0	0	10	0
		30	8.8	33.73	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月の石狩湾海域(浜益)および日本海北部海域(増毛)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でデイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月16日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (7.0)	5/13	0	6.1	31.29	0	0	20	20	Dn
		5	4.4	31.57	0	0	50	30	Dn
		10	3.6	31.89	0	0	20	0	
		15	3.3	31.98	0	0	0	0	
厚岸 (1.5)	5/13	0	7.5	30.67	0	0	10	0	
		5	4.5	32.12	0	0	110	90	Dn
		10	4.1	32.26	0	0	0	10	Dn
		13	4.0	32.29	0	0	0	10	Dn
頓別 -	5/10	0	7.2	33.40	0	0	50	0	
		10	7.1	33.42	0	0	40	0	
		20	6.7	33.63	0	0	10	0	
		30	6.6	33.62	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクシス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬の標津海域、厚岸海域および頓別海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとノルウェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2016年5月16日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 4.5	5/9	0	6.7	31.86	0	0	0	40	0	
		10	6.1	32.90	0	0	0	0	60	Dn60
		20	4.1	32.73	0	0	0	20	20	Dn20
		30	2.2	32.81	0	0	0	0	20	Dn20
虻田 噴火湾東部 11.0	5/9	0	8.4	31.99	0	10	0	50	0	
		5	8.2	32.36	0	0	0	60	0	
		10	7.4	32.45	0	10	0	0	0	
		15	6.5	32.71	0	10	0	10	20	Dn20
		20	5.9	32.79	0	30	0	0	0	
25	5.8	32.97	0	0	0	0	0			
森 噴火湾西部 14.0	5/6	0	8.5	32.64	0	10	0	340	0	
		10	8.0	32.58	0	10	0	430	0	
		20	7.1	32.71	0	20	0	70	0	
		30	5.5	33.01	0	20	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェーガ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテウンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

5月上旬の水温は、太平洋中部で2.2~6.7°C、噴火湾東部で5.8~8.4°C、噴火湾西部で5.5~8.5°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月11日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (6.0)	5/9	0	4.3	32.22	0	0	10	0	
		10	2.5	32.36	0	0	70	20	Dn,Dru
		20	2.6	32.43	0	0	100	20	Dn,Dru
		30	2.4	32.46	0	0	20	20	Dn,Dru
サロマ湖 (3.8)	5/9	0	8.1	31.04	0	0	10	0	
		3	7.9	30.95	0	0	30	0	
		6	7.2	31.18	0	0	20	10	Dn
		9	7.1	31.30	0	0	40	0	
		12	6.9	31.41	0	0	10	0	
		15	6.6	31.34	0	0	30	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディアラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬の網走中部およびサロマ湖海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2016年5月9日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	4/27	0	8.9	31.85	10	0	0	20	0	
噴火湾西部		10	7.0	32.55	0	0	0	0	0	
8.0		20	6.4	32.55	0	0	0	10	0	
		30	5.2	33.05	0	0	0	0	10	Dn10

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

4月下旬の水温は、噴火湾西部で5.2~8.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月6日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (9.0)	4/26	0	11.0	32.79	0	0	0	0	
		10	10.5	33.58	0	0	0	0	
		20	10.0	33.93	0	0	0	0	
		30	9.9	34.00	0	20	10	0	
能取湖 (5.2)	4/26	0	6.1	31.71	20	0	460	50	Di30, Dn20
		10	4.7	32.14	0	0	60	10	Di

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月下旬の能取湖海域で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに(20細胞/L)出現しました。江差海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖海域でデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年5月2日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (5.0)	4/25	0	3.1	32.08	0	0	0	0	
		10	1.5	32.72	0	0	30	10	Dru
		20	1.5	32.79	0	0	10	10	Dru
		30	2.2	33.03	0	0	0	0	
サロマ湖 (3.3)	4/25	0	5.6	30.53	0	0	0	0	
		3	5.3	30.97	0	0	0	0	
		6	4.8	31.43	0	0	0	0	
		9	4.6	31.80	0	0	0	0	
		12	4.0	32.18	0	0	0	0	
		15	3.7	32.42	0	0	0	0	
増毛 (9.0)	4/25	0	8.4	32.01	0	0	40	0	
		10	8.2	32.37	0	0	190	0	
		20	7.8	33.02	0	0	320	0	
		30	7.6	33.47	0	0	300	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の常呂海域およびサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

増毛海域で下痢性貝毒プランクトンのデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2016年4月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 10.0	4/25	0	7.5	30.62	0	0	0	0	0	Dn10
		5	6.1	32.50	0	0	0	20	10	
		10	5.9	32.54	0	0	0	0	0	
		15	5.8	32.59	0	0	0	0	0	
		20	5.7	32.61	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 12.0	4/21	0	6.8	32.43	0	0	0	0	0	
		5	5.8	32.66	0	0	0	50	0	
		10	5.5	32.80	0	0	0	10	0	
		15	5.2	32.81	0	0	0	0	0	
		20	5.3	32.91	0	0	0	0	0	
		25	6.2	33.46	0	0	0	0	0	
30	6.4	33.26	0	0	0	0	0			
		40	7.3	33.80	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

4月下旬の水温は、噴火湾東部では5.5~7.5°C、噴火湾西部では5.2~7.3°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年4月27日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
猿払 (-)	4/20	0	4.3	34.05	0	0	0	0	
		10	4.3	34.06	0	0	0	0	
		15	4.3	34.06	0	0	0	0	
		20	4.3	34.06	0	0	10	0	
紋別 (8.0)	4/19	0	1.4	32.60	0	0	60	0	
		15	3.3	33.00	0	0	20	10	Di
		25	3.3	33.02	0	0	30	0	
		38.9	3.3	33.19	0	0	0	0	
能取湖 (4.0)	4/20	0	4.6	31.14	0	0	0	0	
		10	4.2	31.90	0	0	10	20	Dn
網走 (-)	4/21	0	4.1	31.93	0	0	180	10	Dru
		10	3.2	32.61	0	0	200	20	Dn
		20	1.9	32.70	0	0	0	0	
		30	2.9	32.92	0	0	0	0	
厚岸 (4.0)	4/22	0	5.4	30.28	0	0	0	0	
		5	3.4	32.01	10	0	10	0	
		10	3.1	32.25	0	0	0	0	
		12	3.0	32.34	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

4月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに(10細胞/L)出現しました。同月中～下旬の宗谷北部～網走南部のオホーツク海沿岸では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2016年4月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 15.0	4/12	0	5.7	33.40	0	0	0	0	0	
		10	6.2	33.39	0	0	0	0	0	
		20	6.4	33.53	0	0	0	0	0	
		30	6.3	33.56	0	0	0	0	0	
静内 太平洋中部 3.0	4/19	0	3.3	32.73	0	0	0	0	0	
		10	2.4	32.70	0	0	0	0	0	
		20	2.3	32.82	0	0	0	0	0	
		30	2.3	32.85	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 15.0	4/22	0	6.8	32.62	0	0	0	0	0	
		5	6.1	32.71	0	0	0	20	0	
		10	5.3	32.77	0	0	0	0	10	Dn10
		15	5.1	33.09	0	0	0	0	0	
		20	5.1	33.28	0	0	0	0	0	
		25	5.1	33.32	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 11.0	4/12	0	9.1	33.79	0	0	0	0	0	
		10	9.1	33.89	0	0	0	0	0	
		20	9.1	33.92	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

4月中旬の水温は、太平洋中部では2.3~6.4°C、津軽海峡では9.1°Cです。4月下旬の水温は、噴火湾西部では5.1~6.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年4月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (4.0)	4/14	0	7.5	29.48	0	0	10	0
		10	7.2	33.06	0	0	40	0
		20	7.2	33.19	0	0	340	0
		30	7.1	33.78	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の浜益海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年4月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (8.0)	4/11	0	8.7	32.20	0	0	0	0	
		10	8.0	34.01	0	0	0	0	
		20	7.4	34.04	0	0	0	0	
		30	7.1	34.05	0	0	0	0	
頓別 —	4/12	0	5.9	33.42	0	0	140	10	Di
		10	5.9	33.51	0	0	120	10	Di
		20	5.8	33.81	0	0	20	10	Di
		30	5.8	33.81	0	0	90	10	Di

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウヰシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の江差海域および頓別海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、頓別でデイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年4月15日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (7.0)	4/11	0	5.5	33.25	0	0	30	0
		10	5.4	33.34	0	0	40	0
		20	5.4	33.48	0	0	30	0
		30	5.4	33.48	0	0	90	0
サロマ湖 (4.5)	4/12	0	3.7	31.00	0	0	10	0
		3	3.6	31.38	0	0	0	0
		6	3.6	31.40	0	0	0	0
		9	3.4	31.47	0	0	0	0
		12	3.4	31.51	0	0	50	0
		15	3.2	31.49	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の常呂海域およびサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2016年4月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 4.0	4/4	0	4.4	31.63	0	0	0	10	0	
		5	4.0	32.37	0	0	0	100	20	Dn20
		10	3.9	32.42	0	0	0	60	10	Dn10
		15	3.9	32.40	0	0	0	10	0	
		20	3.8	32.43	0	0	0	20	0	
		25	4.0	32.52	0	0	0	10	0	
森 噴火湾西部 5.0	4/5	0	6.5	31.30	0	0	0	0	0	
		10	5.5	32.87	0	0	0	0	0	
		20	5.4	32.90	10	0	0	0	0	
		30	5.0	32.97	0	0	0	10	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェンガ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していますが、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

4月上旬の水温は、噴火湾東部では3.8~4.4°C、噴火湾西部では5.0~6.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年4月11日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	Di
猿払 -	4/5	0	5.4	33.76	0	0	10	10	Di
		10	5.4	33.77	0	0	40	0	
		15	5.4	33.76	0	0	10	0	
		20	5.4	33.76	0	0	30	0	
厚岸 (2.5)	4/7	0	4.3	29.99	0	0	0	0	
		5	2.4	31.96	0	0	10	0	
		10	1.7	32.21	0	0	0	0	
		13	1.6	32.24	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の宗谷北部(猿払)海域および平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2016年3月28日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	3/22	0	5.1	33.00	0	0	0	10	0	
噴火湾湾口部		5	5.0	32.99	0	0	0	10	0	
4.5		10	4.9	33.12	0	0	0	10	0	
		15	5.0	33.17	0	0	0	20	0	
		20	4.9	33.19	0	0	0	10	0	
		25	4.9	33.20	0	0	0	30	0	
		30	4.9	33.22	0	0	0	10	0	
		40	4.9	33.25	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェンガ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

3月下旬の水温は、噴火湾湾口部では4.9~5.1°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2016年3月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 7.0	3/8	0	0.9	32.03	0	0	0	0	0	
		10	0.5	32.40	0	0	0	30	0	
		20	0.9	32.36	0	0	0	0	0	
		30	1.0	32.48	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 6.0	3/2	0	4.6	32.59	0	0	0	0	0	
		5	4.4	33.37	0	0	0	0	0	
		10	4.8	33.44	0	0	0	0	0	
		15	4.7	33.44	0	0	0	0	0	
		20	4.7	33.44	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.0	3/10	0	4.0	32.83	0	0	0	0	0	
		5	4.4	33.39	0	0	0	0	0	
		10	4.4	33.40	0	0	0	0	0	
		15	4.4	33.41	0	0	0	0	0	
		20	4.3	33.41	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 8.5	3/4	0	4.2	33.55	0	0	0	0	0	
		10	4.1	33.56	0	0	0	0	0	
		20	4.0	33.56	0	0	0	0	0	
		30	4.0	33.57	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 13.0	3/11	0	8.0	33.54	0	0	0	0	0	
		10	8.2	33.72	0	0	0	0	0	
		20	8.3	33.76	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していますが、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

3月上旬の水温は、太平洋中部では0.5~1.0°C、噴火湾東部では4.4~4.8°C、噴火湾西部では3.9~4.4°C、3月中旬の水温は、津軽海峡では8.0~8.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年3月11日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (10.0)	3/7	0	-0.5	31.72	0	0	0	0
		5	-0.6	32.07	0	0	10	0
		10	-0.6	32.08	0	0	0	0
		15	-0.6	32.08	0	0	20	0
厚岸 (2.2)	3/10	0	0.4	31.42	0	0	0	0
		5	0.2	31.86	0	0	0	0
		10	0.3	31.98	0	0	10	0
		13	0.1	32.09	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2016年3月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 10.0	2/23	0	4.0	32.83	0	0	0	10	0	
		5	4.4	33.52	0	0	0	0	0	
		10	4.4	33.53	0	0	0	0	0	
		15	4.4	33.53	0	0	0	0	0	
		20	4.4	33.53	0	0	0	0	0	
		25	4.4	33.54	0	0	0	0	0	
		30	4.5	33.55	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 16.0	2/12	0	8.7	33.90	0	0	0	0	0	
		10	8.7	33.91	0	0	0	0	0	
		20	8.7	33.91	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェンガ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していますが、津軽海峡には出現していません。

2月中旬の水温は、津軽海峡では8.7°C、2月下旬の水温は、噴火湾西部では4.0~4.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2016年2月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	2/8	0	-0.9	31.64	0	0	0	0
		5	-0.9	31.71	0	0	0	0
		10	-0.7	32.00	0	0	20	0
		13	-0.3	32.04	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月上旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2016年2月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 7.0	2/8	0	2.8	32.90	0	0	0	0	0	
		10	2.8	32.92	0	0	0	0	0	
		20	3.1	33.07	0	0	0	0	0	
		30	6.1	33.43	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.5	2/1	0	5.6	33.54	0	0	0	0	0	
		5	5.6	33.58	0	0	0	0	0	
		10	5.7	33.65	0	0	0	0	0	
		15	5.7	33.65	0	0	0	0	0	
		20	5.7	33.66	0	0	0	0	0	
		25	5.7	33.67	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェンガ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

2月上旬の水温は、太平洋中部では2.8~6.1°C、噴火湾東部では5.6~5.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2016年1月29日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 11.0	1/18	0	6.7	33.81	0	0	0	0	0	
		5	6.7	33.66	0	0	0	0	0	
		10	6.7	33.66	0	0	0	0	0	
		15	6.7	33.67	0	0	0	0	0	
		20	6.7	33.67	0	0	0	0	0	
		25	6.7	33.67	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 6.0	1/26	0	5.1	33.59	0	0	0	0	0	
		5	5.1	33.56	0	0	0	0	0	
		10	5.2	33.61	0	0	0	0	0	
		15	5.2	33.63	0	0	0	0	0	
		20	5.2	33.64	0	0	0	0	0	
		25	5.2	33.64	0	0	0	0	0	
		30	5.2	33.65	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 6.0	1/22	0	9.3	33.88	0	0	0	0	0	
		10	9.3	33.90	0	0	0	0	0	
		20	9.2	33.88	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロトンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

1月中旬の水温は、噴火湾東部では6.7°Cです。1月下旬の水温は、噴火湾西部では5.1~5.2°C、津軽海峡では9.2~9.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2016年1月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (11.0)	1/13	0	2.0	31.92	0	0	40	0
		5	2.0	31.92	0	0	40	10
		10	2.0	31.92	0	0	60	0
		15	2.0	31.93	0	0	70	0
厚岸 (5.0)	1/13	0	-0.4	31.74	0	0	0	0
		5	0.9	32.33	0	0	10	0
		10	1.2	32.36	0	0	20	0
		12	1.2	32.33	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月中旬の根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2016年1月7日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	1/4	0	9.3	33.81	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	9.3	33.87	0	0	0	0	0	
14.0		20	9.3	33.88	0	0	0	0	0	
		30	9.4	33.88	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

1月上旬の水温は、太平洋中部では9.3~9.4°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)